

薩摩 研斗 (指揮・ピアノ) KENTO SATSUMA

2002年、神戸に生まれる。

京都市立京都堀川音楽高等学校にて指揮、ピアノ、ヴァイオリンを学び、京都市民管弦楽団および京都堀川音楽高等学校オーケストラの指揮を務めた。指揮を高谷光信氏、藏野雅彦氏に、ピアノを麦谷和代氏、岡部悦子氏、有馬みどり氏に師事。2020年よりヤナーチェク芸術アカデミー (JAMU) に在籍し、ピアノを JAN JIRASKY 教授に、指揮を ROSTISLAV HALIŠKA 教授および JAKUB KLECKER 准教授、ONDREJ OLOS 氏に師事。

これまでにカルロヴィ・ヴァリ指揮コンクール第3位、レオシュ・ヤナーチェク国際ピアノコンクール第3位、スメタナ国際ピアノコンクール第1位を受賞。また、国際音楽祭ヤング・ブラハ、ブラハ・ドヴォルザーク音楽祭、スメタナ音楽祭など、数多くの音楽祭に出演し、好評を博した。チェコ国内では、ブルノ国立フィルハーモニー管弦楽団、ブルノ国立劇場管楽団、ピルゼン・フィルハーモニー管弦楽団、ヤナーチェク・フィルハーモニーなど、各地のオーケストラと指揮者・ピアニストとして共演。また、ブラハ室内フィルハーモニー管弦楽団およびモラヴィア・フィルハーモニー管弦楽団とは、ピアノ弾き振りによる共演も果たしている。



フィルハーモニックアンサンブル管弦楽団 (オーケストラ) PHILHARMONIC ENSEMBLE ORCHESTRA

「ホールも楽器の一部」との基本理念から、演奏会場も音響の良いホールを求め、東京を本拠地としつつ、国内外の名ホールを訪ねる演奏旅行なども企画し、幅広い地域との交流を行っている。1976年、立教大学交響楽団OBにより、合唱団の依頼に応えるかたちでヘンデル《メサイア》祝祭オーケストラとして結成。1979年に初の主催演奏会を開くにあたり、門戸を広げ、一般の社会人オーケストラとして東京を中心に自主運営活動が続いている。2026年に結成50周年を迎える。

1992年、USA コンサートツアーでは、フィラデルフィアおよびニューヨークのカーネギーホールで公演。日本を代表するジャズピアニスト山下洋輔とガーシュウィン《ラプソディ・イン・ブルー》などを共演し、喝采を浴びた。1998年、ウィーン楽友協会大ホールにて日本をモチーフにした曲を紹介。2000年、北京・世紀劇院大ホールにてマリンバ奏者安倍圭子と共演し、指揮の大友直人とともに安倍の自作曲を紹介。2002年5月にはベルリン・フィルハーモニーホールにて、三枝成彰作曲のcantata《天涯》を大友直人指揮で海外初演し、「モルゲンポスト」紙などで好評を博す。2004年3月、レオンカヴァッロ作曲のオペラ《ラ・ボエーム》をトヨタコミュニティコンサートの一環として日本初演し、音楽関係誌で絶賛された。2007年7月には小林研一郎指揮で第3回ヨーロッパ演奏旅行を実施。ハンガリー・ブダペストにてベートーヴェン《第九》、オーストリア・ウィーンにてマーラー《交響曲第2番「復活」》を演奏し、好評を博した。2009年7月、オランダ・アムステルダム・コンセルトヘボウ・サマーコンサートに招聘され、小林研一郎指揮でマーラー《交響曲第2番「復活」》を演奏。満席の聴衆からスタンディング・オベーションを受けた。2010年11月、三枝成彰団長の六本木男声合唱団倶楽部に同行し、イタリア・ミラノ大聖堂にて三枝成彰《レクイエム》を演奏。2012年7月、チェコのドヴォルザーク・ホールにて小林研一郎指揮のもと、チャイコフスキー《交響曲第5番》などを演奏し、スタンディング・オベーションを含む喝采を浴びた。2018年9月には、チェコのスメタナ・ホールにて矢崎彦太郎指揮のもと、R.シュトラウス《ホルン協奏曲第1番》(独奏：カテジナ・ヤヴールコヴァ)、西村朗の作品などを紹介した。

2016年9月、開校した矢祭小学校の校歌(小林研一郎作詞・作曲)のお披露目会、2025年9月には開校10周年記念コンサートのため福島県矢祭町を訪れ、小学生や周辺地域の人々に小林研一郎の指揮でオーケストラ音楽を届けた。2017年11月、ポール・ラッシュ博士の生誕120周年を記念するコンサート(山梨県)に出演し、地域活動にも貢献している。

国内の主催公演では、ピアノの金子三勇士、山下洋輔、小山実稚恵、仲道郁代、パスカル・ドゥヴァイヨン、ヴァイオリンの徳永二男、大谷康子、千住真理子、山根一仁、チェロの宮田大、徳永兼一郎、フルートの細川順三、工藤重典、ギターの大塚清志、声楽では森麻季、メゾソプラノのエレナ・オブラストワフなど、多彩なアーティストと共演している。指揮者には、小林研一郎、下野竜也、矢崎彦太郎、飯森範親、大友直人、秋山和慶、カルロス・シュピラー、小松一彦などを迎えている。

演奏会のライヴCDとして、マーラー《交響曲第2番「復活」》、同《交響曲第3番》、《エレナ・オブラストワフとともに》、R.シュトラウス《英雄の生涯》(コンサートマスター：大谷康子)、ショスタコーヴィチ《交響曲第5番「革命」》をリリース。1998年には当時ベルリン・フィルのソロ・トランペット奏者であったコンラディン・グロート教授と共に、トランペットの名曲を満載したオリジナルCD《トランペット協奏曲》を、2004年にはベルリン・フィルのソロ・トロンボーン奏者オラフ・オット氏とのCD《トロンボーン協奏曲集》をカメラータ・トウキョウより、2012年にはドヴォルザーク・ホールでのライヴCDをオクタヴィア・レコードからリリースしている。

これからの
演奏会

第81回演奏会 2027年3月21日(日)
東京芸術劇場 [指揮：下野竜也 独奏：山根一仁 (ヴァイオリン)]

すみだトリフォニーホール

SUMIDA TRIPHONY HALL

〒130-0013 東京都墨田区錦糸1-2-3

JR錦糸町駅北口徒歩3分/東京メトロ半蔵門線「錦糸町駅」3番出口より徒歩5分
Kinshicyo Station on the JR Sobu Line
5 minutes walk
Kinshicyo Station on the Tokyo Metro Hanzomon
(Exit No.3) 5 minutes walk

